

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	じらふ住吉		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人支援 本人主体で活動選択ができる 「あそび」を中心とした活動や・支援	視覚的なツール等活用し、子どもたちに選択の機会を設けている。情報の見える化。 子どもの自己決定を尊重した関わり方。 遊びの要素を含んだ自立課題等の提供。 子どもたちそれぞれに応じた興味関心のある遊び・玩具の提供。	職員・パートアルバイトスタッフでミニ勉強会の開催やロールプレイを通じて学びと実践の機会を設け、質の高い支援の提供に向けて働きかけていく。
2	根拠に基づく実践 PECSなど視覚的支援を用いた子どもたちの意思表示の形成 アドラー心理学を用いた勇気づけ 研修で学んだ様々な実践	発語があまりない、発語があっても自分の意思を言葉でうまく伝えられない方に対して、自発的にコミュニケーションを取り始めること、要求することを教えるPECSの取り組みの導入。 賞罰のつけ方ではなく、子どもに選択の機会を設け、結末を体験させる方法でのアプローチ。結果ではなく、過程に着目する。勇気づけ。	職員・パートアルバイトスタッフでミニ勉強会の開催やロールプレイを通じて学びと実践の機会を設け、質の高い支援の提供に向けて働きかけていく。
3	家族支援 ご家族との丁寧なやり取り ママレモンズ・おやじの会 すみすみ連絡会(住吉区住之江区放課後等デイサービス連絡会) すみすみ研修	日々の連絡帳、電話、公式LINE等での情報共有や相談受付の実施。 定期的な保護者会の開催。 他事業と情報交換をして家族支援に繋げている。 保護者の方と職員とが研修を通じてともに学ぶ機会・交流会・懇親会の機会を設けている。	LINE公式を活用して、研修動画や、支援のヒントなどを共有し、情報提供を視覚的に行っていく。 すみすみ研修の案内を保護者向けにLINE公式で配信し、研修の内容を知ってもらう機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の充実 身体を動かすプログラム プログラム内容の充実 外出企画	多様なニーズを持つ利用者それぞれに個性が高い分、安全性を確保する状況・状態も多く、集団での活動プログラムの提供に困難さがある。 地域の社会資源の活用不足。	長居スポセンや万代池公園など近場の外出をたくさん経験して、スタッフも経験を積む。 ヘルパーに確認する。 朝の会など決まった時間で、体を動かす機会を作る。
2	スタッフ間のやり取り 情報共有の方法 業務分担	職員の実務業務の遂行時間の確保に課題がある。 パートアルバイトスタッフへの業務分担のシステム化に課題がある。	支援内容を統一するためのファイルを作る。 業務分担の作業を仕分ける。 スタッフへの指示を明確に。OJTを直接する。ロールプレイ。
3	地域連携 地域との交流の機会	事業所として地域に向けての発信が少ない。 地域の子どものニーズと事業所の利用者のニーズの両者に見合った取り組みやイベントの創出の困難さ。	ごはんくらぶ、きずなバザーなど、法人内で実施しているイベントに参加する きずなバザーにじらふとして出店する。もしくはバザーの売り子になる。